

大阪経済大学
一般選抜対入試策講座
日本史

夕陽丘予備校

日本史講師

田中 章人

専修学校 夕陽丘予備校

一般入試・日本史 入試問題対策講座

～大阪経済大学の日本史は難しい？～

○入試の方式・試験時間

* A方式

「日本史」を含む6科目から2科目を選択
試験時間は100分→日本史にかけられる時間は50分

<出題形式> 大問2問、設問数50数問程度→設問1問あたり約1分
全問マーク式（記号選択）

* B方式

「英語」・「国語」に加え、「日本史」・「世界史」・「数学」から1科目選択
（日本史の）試験時間は60分

<出題形式> 大問2問、設問数50問前後→設問1問あたり約1分
全問マーク式（記号選択）

* D方式

「英語」・「日本史」・「数学」・「国語」の4科目から2科目選択（「英語」は必須）
「日本史」は近現代史分野から出題
試験時間は90分→日本史にかけられる時間は45分

<出題形式> 大問2問、2023年度入試では設問数40問
→設問1問あたり約1分あまり
全問マーク式（記号選択）

○大阪経済大学一般入試・「日本史」の出題傾向

「古代」	=旧石器・縄文・弥生・古墳・飛鳥・奈良・平安時代
「中世」	=鎌倉・(南北朝)・室町(戦国)時代
「近世」	=安土桃山・江戸時代
「近代」	=明治・大正・昭和(戦前:1945年太平洋戦争終結まで)時代
「現代」	=昭和(戦後)時代～現在

☆Point1・・・設問数はA方式・B方式は50問前後！
D方式は40問!!

☆Point2・・・A方式・B方式は第1問=古代～近代、第2問=近現代！
D方式は「近代史」=現代(戦後)含む!!
しかもD方式は近現代(明治時代以降)から出題!!

☆Point3・・・経済史・文化史分野からの出題が多い！
例 鎌倉～室町～江戸時代の農業・商工業、明治～大正～昭和の貿易、など

☆Point4・・・史料やグラフを用いた出題が多い！
なおかつ、史料文中の空欄に適語を入れる出題が目立つ!!

☆Point5・・・写真や絵図を用いた出題も多い！
付属する説明文も読もう!!

【実際の入試問題から傾向をつかもう】
(2023 年度 A 方式 1 月 25 日実施分より)

第 1 問<古代～近世：江戸時代まで>

(1) 旧石器時代・縄文時代・弥生時代

問 1

正解=①：環濠集落…弥生時代に形成された集落。吉野ヶ里遺跡（佐賀）など。

②：惣村…農民らによる自治の村落。主に南北朝時代以降に形成。

③：装飾古墳…7 世紀頃の古墳。内部に装飾→高松塚古墳壁画（奈良）など。

④：群集墳…6 世紀頃に登場する小規模な円墳が密集したもの。

問 2

正解=②：岩宿遺跡（群馬）での打製石器発見→日本列島に旧石器文化が存在。

①：旧石器文化（時代）の化石人骨…浜北（静岡）・港川（沖縄）

→いずれも新人段階。

※人類の発達：猿人→原人→旧人→新人

③：ナイフ型石器は、旧石器時代に使用された打製石器の一種。

④：<やや難>礎石を用いた建造物…仏教伝来（6 世紀）とともに伝わる

→法隆寺金堂など

問 3

正解=②…縄文土器

①…円筒埴輪。主に 4 世紀頃の前方後円墳などで使用された。

③…竜首水瓶（りゅうしゅすいびょう）。法隆寺に伝わった宝物。

④…須恵器。5 世紀頃に朝鮮半島から伝わった技術によって作られた陶質土器。

※<注意>土師器＝弥生土器の流れをくむ土器

問 4 4

正解=④…貯蔵用の壺や食物を盛る鉢など（弥生土器のこと）。

- ①…水稻耕作は、当初は湿田（→排水の必要）、のちに乾田（→灌漑が必要）が広まった。
- ②…水稻耕作は北海道（→続縄文文化）、沖縄（→貝塚文化）以外の各地に広まった。
- ③…乾田が普及するにつれて、木製農具だけでなく鉄製農具も使用されるようになった。

問 5 5

正解=①…青銅器として、銅矛・銅戈・銅劍・銅鐸などが存在した。

- ②…（九州北部→）甕棺墓・支石墓、（西日本など→）方形周溝墓などでは副葬品も発見される。
 - ③…八角墳が作られたのは7世紀半ば（600年代半ば）。
 - ④…儒教の伝来は513年（6世紀前半）、百済から来日した五経博士によって伝えられた。
- ※これ以前（5世紀初め）にも朝鮮半島からの渡来人である王仁が『論語』『千字文』を持参した。

問 6 6

正解=④…『漢書』地理志→紀元前1世紀ころの様子（楽浪郡への朝貢）

- ①…『宋書』倭国伝→5世紀ころの様子（倭の五王が中国南朝へ朝貢）
- ②…『後漢書』東夷伝→1～2世紀ころの様子（奴国王が光武帝より「漢委奴国王」の金印を得る）
- ③…「魏志」倭人伝→3世紀ころの様子（邪馬台国に関する記述）

問7

正解=①…邪馬台国には独自の租税や刑罰の制度、市が整備されていた。

②…王—大人（役人）—下戸（庶民）—生口（奴隸）の身分差が存在した。

③…邪馬台国の女王卑弥呼は、魏の明帝から「親魏倭王」の金印紫綬を得た。

※「天皇」の称号の使用は天武天皇（7世紀後半）からと考えられる（ほかにも諸説あり）。

④…菟与は卑弥呼の宗女（一族の女性）であった。

(2) 平安時代の政治と浄土教（文化）

問8 B C

正解==③、=④

問9

正解=①：平城太上天皇の変（薬子の変：810）

②：桓武天皇の時代。しかも「九州南部」ではなく「東北地方」。

③：「天台宗」ではなく「真言宗」。

④：醍醐天皇の時代（902）

問10

正解=②：平城太上天皇の変（薬子の変）の際に検非違使とともに設置された。

※藤原冬嗣（北家）とその子孫が台頭する契機

①：桓武天皇の時代。しかも「旧来の軍団と兵士」が廃止され「健児制」が設置された。

③：称徳天皇の時代（奈良時代後半）。

④：「勘解由使」ではなく「検非違使」。

※勘解由使（桓武天皇）…国司交代時の解由状を監査した。

問 11 12

正解=③：

☆平安時代の主な政変

嗟峨 薬子の変 (810) : <北家>冬嗣…藤原仲成・薬子<式家>が失脚。

仁明 承和の変 (842) : <北家>良房…橘逸勢・伴健岑が失脚。

※橘逸勢=「三筆」の一人(嗟峨天皇・空海)

清和 応天門の変 (866) : <北家>良房…伴善男・紀豊城が失脚。

※『伴大納言絵巻』(平安末期文化の絵巻物)

宇多 阿衡の紛議 (888) : <北家>基経…嗟峨天皇が謝罪、橘広相が失脚。

醍醐 昌泰の変 (901) : <北家>時平…菅原道真が降格(太宰府へ左遷)。

冷泉 安和の変 (969) : <北家>実頼…源高明が降格(太宰府へ左遷)。

※藤原北家：冬嗣－良房＝基経－時平

－忠平－実頼

－師輔…(中略)…道長－頼通

問 12 13

正解=①：正文

②：「王臣家」→「摂関家」。

③：「藤原行成」→「藤原良房」。

④：「天皇との血縁関係には頼らず、藤原氏の武力によって」。

→「天皇との血縁関係(外戚関係)を重視し、他氏の排斥によって」。

問 13 14

正解=④(六波羅蜜寺空也上人立像) ※鎌倉文化期。

①(重源上人坐像) ※鎌倉文化期

②(後白河法皇像) ※鎌倉文化期

③(唐招提寺鑑真和上像) ※天平文化期(奈良時代、8c)

(3) 室町時代の政治・社会と農業・商工業

問 14 D E F

正解==①、=③、=②

☆室町時代の主な政変と一揆

観応の擾乱（1352）：①足利尊氏 vs 足利直義（弟）

土岐氏の乱（1390）：③足利義満 vs 土岐康行（美濃などの守護大名）

明德の乱（1391）：③足利義満 vs 山名氏清（但馬などの守護大名）

応永の乱（1399）：義満（将軍は④足利義持） vs 大内義弘（周防などの守護大名）

上杉禅秀の乱（1416）：④足利義持 vs 上杉氏憲（前関東管領）

（→義持は鎌倉公方足利持氏を支援）

<正長の土一揆（徳政一揆）>（1428）…近江坂本の馬借らが土倉・酒屋・寺院襲撃。

<播磨の土一揆>（1429）…播磨の土民が守護赤松氏の軍勢退去要求→赤松満祐鎮圧。

応永の乱（1438～39）：⑥足利義教 vs 足利持氏（鎌倉公方）

（→義教は関東管領上杉憲実を支援）

嘉吉の乱（変）（1441）：⑥足利義教が播磨などの守護大名赤松満祐に暗殺される。

<嘉吉の土一揆（徳政一揆）>（1441）…⑦足利義勝の代始めに際し徳政令発布要求。

応仁の乱（1467～77）：⑧足利義政…東軍（細川勝元） vs 西軍（山名持豊（宗全））

<山城の国一揆>（1485）…南山城の国人と土民が両畠山氏の軍勢を退去させる。

<加賀の一向一揆>（1488）…加賀の一向宗徒が守護大名富樫政親を倒す。

明応の政変（1493）：⑩足利義植が管領細川勝元によって将軍を下ろされる。

→⑪足利義澄を擁立

永禄の変（1565）：⑬足利義輝が三好義継らの軍勢に襲撃され殺害される。

室町幕府滅亡（1573）：⑮足利義昭が織田信長によって京都から追放される。

問 15 18

正解=③: 1392 年に南朝の後亀山天皇が三種の神器を北朝の後小松天皇に明け渡した。

- ①: 「東山」ではなく「北山」。
- ②: 「元」ではなく「明」。
- ④: 永享の乱は⑥足利義教の時代。

問 16 19

正解=④: 鎌倉期に普及した刈敷・草木灰に加え、室町期には下肥も使用された。

- ①: 「町人が新田開発」=町人請負新田は江戸時代。
- ②: 平城京や平安京には「官営」の東市・西市が設置された（民営ではない）。
- ③: 寛永通宝は江戸幕府 3 代将軍徳川家光の時代より鑄造された。

(4) 江戸時代の外交・天保の改革・化政文化

問 17 20

正解=④: 1641 年に平戸のオランダ商館が長崎・出島に移転した。

- ①: キリシト教禁止の徹底が鎖国を敷く主な理由であった。
- ②: 奉書船の渡航は 1635 年まで認められていた。

※1631 奉書船制度の開始（将軍発行の朱印状+老中発行の奉書）

1633 奉書船以外の海外渡航禁止<鎖国令Ⅰ>

1635 日本人の海外渡航・帰国の全面禁止<鎖国令Ⅲ>

- ③: 1609 年の己酉約条で日朝国交回復・貿易再開→朝鮮通信使の来日。

問 18 21

正解=②：1837年（19世紀前半）に大塩平八郎の乱が起こった。

①：「水野忠邦」ではなく「松平定信」（寛政の改革）。

※尊号一件…当時の光格天皇が実父（天皇に即位した経験は無い）に太上天皇の尊号を贈ろうとしたが、幕府の老中松平定信は反対した。

③：天保の飢饉は1833～39年。松平定信の時代（寛政の改革）は18世紀末。

④：高野長英＝『戊戌夢物語』・渡辺崋山『慎機論』

※1837年のモリソン号事件の対応を批判したが、幕府は弾圧（蛮社の獄）。

問 19 22

正解=①：②（享保の改革）・③（徳川家康の時代）・④（徳川綱吉の時代）

問 20 23

正解=④：ゴローウニン事件（1811～13）を機に改善→幕府は蝦夷地を松前藩に還付。

☆18世紀末～19世紀の主な外国船の接近

1792 ラックスマン（露）根室来航…大黒屋光太夫が帰国。

1804 レザノフ（露）長崎来航…通商要求拒否→関係悪化→幕府は蝦夷地を直轄化。

1808 フェートン号事件（英）＝②

1811 ゴローウニン事件（露～13）…捕虜交換（高田屋嘉兵衛が送還される）→④

1825 異国船打払令：日本へ接近する外国船を大砲で追い払う→①

※＜注意＞清・朝鮮・琉球は対象外、蘭船は長崎以外の場所で打ち払う。

1837 モリソン号事件（米）＝③→1839 蛮社の獄

1842 天保の薪水給与令：外国船に薪水・食料を与える（上陸は認めず）。

1844 オランダ国王ウィレム2世の開国勧告…幕府は拒否。

1846 ビッドル（米）浦賀来航…通商要求、幕府は拒否。

1853 ペリー（米）浦賀来航、プチャーチン（露）長崎来航。

問 21 24

正解=③：異国船打払令（1825）

- ①：『海国兵談』（林子平 1791…寛政の改革）：幕府の海防政策を批判した。
- ②：『経世秘策』（本多利明 1798）：対外貿易の拡大による富国策を説いた。
- ④：寛永十二年令＝鎖国令Ⅲ（1635）：日本人の海外渡航・帰国を全面禁止。

問 22 25

正解=②：渡辺崋山の文人画『鷹見泉石像』が有名。

- ①：『富嶽三十六景』は葛飾北斎の作品。
※為永春水…人情本作家『春色梅児誉美』など。
- ③：菱川師宣による浮世絵版画の創始は元禄文化（17世紀後半～18世紀初め）。
- ④：大首絵の手法による美人画は喜多川歌麿『婦女人相十品』が有名。
※円山応挙は写生画（西洋の技法を取り入れた日本画）『雪松図屏風』など。

第2問<近現代：明治時代～昭和時代（戦後）>

(1) 自由民権運動と立憲国家の成立<明治時代>

問1 A B C

正解==①、=②、=③

☆自由民権運動と政府の対応

- ・ 民選議院設立の建白書 (1874) …愛国公党が政府（左院）に提出。
- ・ 愛国社の結成 (1875) …立志社などの民権政社による全国組織。
→政府は漸次立憲政体樹立の詔を発表
→元老院（立法機関）・大審院（司法機関）などの創設。
- ・ 立志社建白 (1877) …改めて国会開設の必要性を主張。
- ・ 国会開設の勅諭 (1881) …政府が10年後（1890）に国会を開設することを公約。
- ・ 制度取調局 (1884) …憲法草案の作成など行う。
- ・ 枢密院 (1888) …憲法草案の審議を行う。
- ・ 大日本帝国憲法 (1889)
- ・ 国会開設 (1890) …衆議院と貴族院の二院制で発足。

問2

正解=①：交詢社（福沢諭吉ら知識人の団体）によるイギリス流私擬憲法。

②：植木枝盛によるフランス流私擬憲法（抵抗権・革命権を含む）。

③：千葉卓三郎らによる私擬憲法（国民の権利を重視した内容）。

④：立志社によるフランス流私擬憲法。…自由党系。

問3 30

正解=④：党首＝板垣退助、フランス流急進主義。機関紙『自由新聞』。

①：党首＝福地源一郎（『東京日日新聞』）、政府御用政党。

②：党首＝大隈重信、イギリス流漸進主義。機関紙『郵便報知新聞』。

→立憲改進黨は、のちに進歩党（＝③）へ改組。

問4 31

正解=③：伊藤博文は、ベルリン大学教授グナイスト・ウィーン大学教授シュタインから学んだ。

①：ベルツはドイツ人医師。日本の西洋医学の基礎を築く。

※（史料）『ベルツの日記』が有名。

②：「グナイスト」→「モッセ」。

④：岩倉具視は憲法草案起草には加わっていない。

問5 32

正解=④：大日本帝国憲法第11条・統帥権の条文。

①：憲法問題調査委員会試案（幣原喜重郎内閣）。

②：『東洋大日本国国憲按』の一部（抵抗権）。

③：岩倉具視の意見書の一部。

(2) 近代の日米関係<明治・大正・昭和（戦前）時代>

☆アメリカによる東アジアへの介入

<明治時代>

1899 門戸開放宣言（門戸開放・機会均等・領土保全）

→アメリカによる対中国政策の原則。

1899～1901 （義和団の乱→）北清事変：日本・アメリカなどが中国へ出兵

→北京議定書。

1904～05 日露戦争

1905 ポーツマス条約：アメリカ（セオドア＝ローズヴェルト）が日露講和を仲介。

1905 桂・タフト協定：日本の韓国指導権とアメリカのフィリピン領有を相互承認。

1905 桂・ハリマン覚書（協定）：南満州鉄道株式会社（満鉄）の日米共同経営案
→日本は破棄。

※満鉄は 1906 年に設立

1909 ノックス満鉄中立化案：アメリカの国務長官の提案→日本は拒否。

<大正時代>

1914～18 第一次世界大戦…日本は参戦。アメリカは当初中立→のち参戦。

1915 二十一カ条の要求：日本（②大隈重信→中华民国袁世凱）

→アメリカなどが反発。

1917 西原借款：日本（寺内正毅）が中国の有力者（段祺瑞）に多額の資金を貸与。

1917 石井・ランシング協定：（石井菊次郎駐米大使と米国務長官）

→日米間の妥協。

※第一次世界大戦を契機にアメリカが国際社会で主導権を握る。

1919 パリ講和会議→ベルサイユ条約：第一次世界大戦の講和条約

1920 国際連盟：アメリカ・ウィルソン大統領の提唱（ただしアメリカは加盟せず）。

1921～22 ワシントン会議：アメリカ・ハーディング大統領の提唱。

→四カ国条約、九カ国条約、海軍軍縮条約。

<昭和時代>

1937～45 日中戦争：アメリカは中国（蒋介石政権）を支援。

1939 日米通商航海条約破棄を通告：アメリカから日本に対して。翌1940年に失効。

1940 日独伊三国軍事同盟：日本・ドイツ・イタリアがアメリカを仮想敵国とする。

1940～41 日本軍がフランス領インドシナ（仏印）占領：

→米、石油など対日輸出禁止、ABCD（米英中蘭）ラインの形成。

1941～45 太平洋戦争：対米英蘭戦争

1941 真珠湾攻撃・マレー半島上陸

1942 ミッドウェー海戦

1943 ガダルカナル島撤退

1944 サイパン島陥落

1945 東京大空襲

→沖縄戦→広島原爆投下→ソ連対日参戦→長崎原爆投下→無条件降伏

問6 D E F

正解 = = ②、 = ①、 = ④

問7

正解 = ②

問8

正解 = ②

問9 38

正解=④：二十一条条の要求の一部（旅順・大連および南満州鉄道路線租借権の99カ
年延長）

- ①：日清修好条規（1871）…日清の国交樹立。
- ②：石橋湛山の小日本主義（日本が植民地・租借地を解放することを主張）。
- ③：下関条約（1895）…日清戦争の講和条約。

問10 39

正解=③：石井＝ランシング協定。

- ①：下関条約で日本は遼東半島・台湾・澎湖諸島を獲得
→遼東半島は三国干渉を受け返還、台湾・澎湖諸島は1945年に放棄。
- ②：九カ国条約の締結（1922）により石井・ランシング協定は破棄された。
- ④：西原借款は日本が単独で実施。

問11 40

正解=②：協調外交に関する説明。

- ①：日露戦争後以来、アメリカでは対日感情は悪化。
→1924年には排日移民法が制定された。
- ③：統帥権干犯問題（1930）
→ロンドン海軍軍縮条約調印に対し海軍軍令部長が統帥権の干犯であると政府を批判。
→右翼青年が当時の浜口雄幸首相を東京駅で襲撃、浜口首相は負傷し翌年死去。
- ④：シベリア出兵（1918～22）日米英仏などによるロシア革命への干渉→失敗。

問 12 41

正解=③：「ハル・ノート」＝アメリカのハル国務長官の説明。

- ①：日米通商航海条約はアメリカ側から通告し、翌年失効した。
 - ②：「ABCD ライン」＝アメリカ・イギリス・中国・オランダが対日経済制裁。
 - ④：満州国建国宣言（1932：満州事変の最中）。
- 米による対日石油輸出禁止は 1941 年。

問 13 42

正解=④：

ミッドウェー海戦（戦況逆転）→サイパン島陥落（絶対国防圏喪失）→原子爆弾投下。

(3) 高度経済成長＜昭和（戦後）時代＞

問 14 43

正解=③：エネルギー革命（1960 年ごろ 主要なエネルギー源が石炭から石油に転換）

※日本初の原子力発電（1963 日本原子力研究所（茨城・東海村））

※1970 年代以降に原発は増加（←1973 ①石油危機、1979 ②石油危機 など）

問 15 44

正解=①

☆戦後の労働運動団体＜全国組織＞

- ・総同盟（1946 日本社会党系・労使協調主義）→総評（1950）→連合（1989）
- ・産別会議（1946 日本共産党系・階級闘争主義）

問 16 45

正解=③：「奄美諸島」→「沖縄」。

※1972年に沖縄は日本へ復帰するが米軍基地の多くは残存している。

問 17 46

正解=①：第四次中東戦争を背景にアラブ諸国などの産油国が原油価格を4倍値上げ。

②：イラン革命（1979）→第二次石油危機（1979）。

③：アフガニスタン紛争（1979－89）。

④：イラクのクウェート侵攻（1990）→湾岸戦争（1990－91）。

問 18 47

正解=②：LT貿易（1962 池田勇人内閣）：日中間の準政府間貿易（国交がない状態で貿易）。

→L＝廖承志（中国）と高碕達之助（日本）の交渉により調印された。

問 19 48

正解=④：水俣病（熊本）…新日本窒素肥料の（メチル水銀化合物）廃水が原因。

①：新潟水俣病（新潟）…昭和電工の（メチル水銀化合物）廃水が原因。

②：イタイイタイ病（富山）…三井金属鉱業（神岡鉱山）のカドミウムが原因。

③：四日市ぜんそく（三重）…石油化学コンビナートによる大気汚染。

問 20 49

正解=②：公害対策基本法（1967 佐藤栄作内閣）：企業の無過失責任は排除。

→環境基本法（＝① 1993 細川護熙内閣）

③：新産業都市建設促進法（1962 池田勇人内閣）

④：地域改善対策特別措置法（1982 鈴木善幸内閣）

問 21 50

正解=④：環境庁（1971 佐藤栄作内閣）→環境省（＝② 2001 森喜朗内閣）に改組。